

作業療法士学科（昼間3年制／夜間4年制）

養成目的

少子高齢化を迎え作業療法士の活動する場も地域へと変化しつつある。その様な情勢において人や社会と繋がりが社会貢献できるような人材育成と人材配置が必要となる。また、身体領域・発達領域・精神領域・老年期領域など作業療法が対象とする幅広い領域に対応しつつ、年々高度化する専門性に応えるためには生涯にわたり自己研鑽が求められる。さらに新たな領域の拡大に貢献しうる柔軟性、包括的視点、問題解決能力、人間力を兼ね備えていく必要がある。

本学科における作業療法士教育は、本校の建学の理念（実学教育・人間教育・国際教育）を基盤に、日本作業療法士協会の推奨する「生活行為向上マネジメント」の視点から、対象者を「生活する人として、活動から参加までを包括的に捉える力」、「対象者の生活を過去から現在、そして将来まで連続している生活として理解し、支援する力」、対象者の「したい」と思う作業から始まり「できる」「する」作業を実現するため、地域の社会的資源の活用まで幅広く捉える包括的視点を養成する。また、対象者の障がいの状況や精神的苦痛などを的確に捉えるための知識や技術の習得、対象者に共感できる豊かな人間性や倫理観などの情意面を涵養し、対象者の生活を再構築し社会へ繋げ、且つ自らも社会へと繋がっていけるマネジメント能力を有する医療専門職『繋がる作業療法士』を養成することを目的とする。

学年(学期)目標

学年	到達目標
昼間部1年前期 夜間部1年前後期	知識：解剖学・生理学の基礎を修得する。作業科学を理解し、作業を探求する力を修得する。生活行為向上マネジメントの目的・意義を理解する。 態度：授業、作業療法総合演習（ゼミ活動）、補修、面談、ポートフォリオ等を通じ、健康的な学生生活の基盤となる規則正しい生活習慣、学習習慣を身につける。 技能：評価学実習、見学実習OSCE（客観的臨床能力試験）を通して模擬患者とのコミュニケーションがとれる。関節可動域測定等、学生同士で検査が実施できる。
昼間部1年後期 夜間部2年前後期	知識：解剖・生理学を体系的に修得する。 態度：授業、作業療法総合演習（昼間部）、キャリア教育、補修、面談、ポートフォリオ等を通じ、円滑な人間関係を築き学術的探求をすることができるコミュニケーション能力を養う。規則正しい生活習慣、学習習慣を身につける。 技能：「見学実習」で対象者の聞き取りができる。徒手筋力検査、学生同士で検査が実施できる。
昼間部2年前期 夜間部3年前期	知識：解剖・生理・運動学の国家試験過去5年間の問題が6割解ける。作業療法治療学等の専門科目授業、障がいを持つ当事者による授業協力を通じ、より現実的な現場をイメージした学び、対象者の障害の理解、評価法の選択、治療法が説明できる。 態度：授業、作業療法総合演習（ゼミ活動）等で、クラスメイトや後輩へ気配りや協力・指導ができる。 技能：各種の基本的な検査・測定を手順通りに実施出来る。
昼間部2年後期 夜間部3年後期	知識：評価学・臨床医学の国家試験過去5年間の問題が6割解ける。作業療法治療学等の専門科目授業、評価実習を通じ、対象者の障害の理解、評価法の選択、治療法が説明できる。 研究法、評価実習で作業を探求する力を修得する。

	<p>態度：「評価実習」で職場のルールを遵守でき、実習指導者や関係職種と良好な関係を築ける。</p> <p>技能：基本的な検査・測定を手順通りに且つ安全に模擬患者へ実施できる。実際の現場で実習指導者の指導のもと検査・測定を実施できる。</p>
<p>昼間部3年前期 夜間部4年前期</p>	<p>知識：作業療法治療学に関する国家試験過去問題が6割解ける。</p> <p>態度：作業療法士の役割と責任を理解し作業療法士としての自覚をもった行動がとれる。海外研修を通じてグローバルな医療人の視点を身につけ、共に医学を志す仲間との国際交流を深める（昼間部必須）。</p> <p>技能：「臨床実習」で作業療法の対象者に対して実習指導者の監督のもと基本的作業療法を実践できる。</p>
<p>昼間部3年後期 夜間部4年後期</p>	<p>知識：作業療法士国家試験に合格できる知識を修得する。</p> <p>態度：作業療法士としての倫理観や生涯学習の態度を身につけることができる。</p> <p>技能：「臨床実習」で作業療法の対象者に対して実習指導者の監督のもと基本的作業療法を実践できる。作業療法分野における研究とその発表ができる。</p>

取得目標資格

作業療法士（国家資格）（卒業時に受験資格取得）

福祉住環境コーディネーター（昼間部2年・夜間部3年次に選択科目として対策授業あり）

防災介助士（夜間部防災コーディネーターコース）

サービス介助士（夜間部防災コーディネーターコース）

応急手当普及員（夜間部防災コーディネーターコース）

こころの検定2・3・4級（夜間部防災コーディネーターコース）

就職分野

一般病院（リハビリテーション科、デイケアセンターなど）、回復期リハビリテーション病院、精神病院、診療所、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、身体障がい者福祉センター、心身障がい児施設、訪問看護ステーション、行政機関 など

職 種

作業療法士